

第4回長瀨町地域創生推進会議 摘録

会 議 名	第4回長瀨町地域創生推進会議	
日 時	平成28年1月14日(木) 午前2時から	
場 所	長瀨町役場 3階会議室	
出席者氏名	委 員	五十嵐元克会長、外池秀彦副会長、新井利朗委員、新井孝彦委員、板谷定実委員、村山勝委員、大澤優巳委員、高橋英之委員、齋藤慶子委員、前田千恵子委員、豊田世津夫委員、坂本義人委員、鷹啄泰則委員、近藤ヨウ子委員、市川健一委員、眞壁恵一郎委員、
	オブザーバー	埼玉県秩父地域振興センター所長 槍田義之氏
	事 務 局	平健司副町長 企画財政課 齋藤英夫課長、中畝康雄主幹、長島大悟主事 計画策定業務委託業者 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所
欠席者氏名	染野益代委員、小暮俊明委員	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 長瀨町総合戦略(素案)について 2) その他 4 閉会 	
資 料	資料1 長瀨町総合戦略(素案)	
議 事 内 容	次ページ以降の通り	

議 事

1 開会

2 委嘱状交付

(委嘱状の交付)

3 会長あいさつ

(五十嵐会長によるあいさつ)

4 議題

1) 長瀨町総合戦略(素案)について

会 長： 事務局より説明をお願いします。

事 務 局： (資料1に基づいた説明)

会 長： 只今、事務局より長瀨町総合戦略(素案)について、説明がありました。これまでの推進会議で出てきた提案をまとめたものになります。まずは基本方針1についてご意見、ご質問はございますでしょうか。

委 員： 基本的な質問ですが、観光入れ込み客数の数え方を教えていただきたいです。

事 務 局： 入れ込み客数については、計算式がありまして、指定の施設やイベントに来た方を合計した数になります。人が重複することを前提とした数え方になるので、正確な数値ではないですが、一般的な算出方法に基づいています。

委 員： 250万人は平成31年に達成するものですか。

事 務 局： 平成31年には達成する目標です。

委 員： ということは、例えば平成30年に達成したら、目標は変更するということですか。

事 務 局： 毎年毎年見直しを行いますので、そのような考え方になります。

委 員： 町内就労者数の割合の42.8%の根拠は何になりますでしょうか。

事 務 局： 人口ビジョンの地域産業の統計に示させていただいている数値になります。国勢調査の結果によるものです。

委 員： 観光産業を軸にした地域産業の活性化として、どうしていくものかが気になりました。

事 務 局： 観光産業を軸にすることは変わりありませんが、町全体の活性化を目指して、このような目標とさせていただきました。

委 員： 観光入れ込み客数については観測するポイントが決まっているのですか。

事 務 局： この入れ込み客数の数字は国の方針に基づいて算出しています。具体的な場所は今すぐ申し上げられませんが、いくつかポイントがあり、そこでカウントしています。その数値がそのまま採用されるのではなく、最終的に算出される数値は国が示した方程式によって算出されます。

委 員： 実感として、250万がダメで、300万がよいとかそういう数値の話ではないところもあると思います。

会 長： 他に基本方針1について、ご意見ご質問ありますか。

委 員： 用語について、プロジェクトマッピングとはどういったものなのでしょうか。

事 務 局： スクリーンに映像を映すものがプロジェクションマッピングです。有名なものだと、東京駅の駅舎などで実施しているものになります。

- 委員： 農業振興の長瀨ブランドの創出とありますが、具体的にはどういったものになるのでしょうか。
- 会長： 具体的にはこれから検討することになります。川越市などは昔から有名なイモのブランド化に成功しているという話も聞きます。
- 事務局： これから特産品を作るというイメージです。
- 委員： イメージキャラクターについてですが、すでにキャラクターがあるのではないのでしょうか。
- 委員： 「トロくん」は非公認キャラクターになります。
- 事務局： 長瀨をイメージできるキャラクターを作っていければと思います。
- 委員： 今私は畑を借りて農業していますが、大変なところも多くあり、ほんとに新規就農者が来て、やっていけるのか疑問があります。
- 事務局： 長瀨町でこういうものを作ったらいいのではないかというものがあれば、作り、加工し、商品化していけたらいいと思います。難しい部分もありますので、専門家の意見も伺いながら、やっていければと思います。また、将来的にはふるさと納税に出せるものができるればいいと思います。
- 委員： 着地型観光とはどういったものなのでしょうか。
- 事務局： これまでは旅行会社がパッケージを組んで観光客がきていましたが、これからは町が積極的に観光商品を作って売り出していくという目的地ありきの観光になります。
- 委員： 「宝」と「宝」を結ぶ新たな観光ルートの開発とありますが、他に「宝」とつけられる場所を探していくべきです。「たから」という言葉を広い意味で捉え、「田から（田んぼから成るもの）」「他から（他からくるもの）」など少しこじつけになってでも考えてみてはどうでしょうか。昔、宝登山に思い岩をもって運ぶレースがあって、商品ありきではなく、走りきる健康な体が「宝」であるという話をしたことがある。幅広い視点をもって、完成したものでなくても色々アイデアが出てくるといいと思います。
- 事務局： 今言われたようなお話も踏まえて今後考えていきます。
- 委員： 全体に関するのですが、具体的な取り組みと、抽象的な取り組みが混在しているように感じます。
- 事務局： 具体的な事業については、その事業を進めていくものとして示させていただいています。抽象的な事業については、皆さまからの提案をまとめたもので、計画期間中に具体化に向けて検討させていただきます。PDCA サイクルの中でできるものから進めていきたいと思っています。
- 委員： 交付金を狙う事業については、今後具体化していくということですか。
- 事務局： はい。検討しながら進めていきたいと思っています。
- 委員： それであれば、パブリックコメントの際に、ある程度具体的な事業については想定予算規模を示す必要があるのではないのでしょうか。
- 事務局： パブリックコメントはあくまで、純粋な政策の内容に意見をいただくためのものであって、予算がないによって見ていただくことが目的ではありません。事業の実施方法は今後検討していきますので、概算経費は今の段階で出すことは難しいです。
- 会長： 続いて基本方針2についてご意見いただきたいと思います。
- 委員： とりあえずこの案はこれで進めていただいてもいいと思います。
- 委員： これはこれでいいと思うのですが、自分の家の家業を継いでもらえるようになればいいと思います。
- 会長： 前の内閣府の調査で、首都圏ほど地方に移動したい率が高いそうです。
- 委員： 私の意見はちょっと違まして、長瀨町に足りないのは交通だと思います。アンケート

でもニーズが出ていますが、戦略の中にはないのが現状です。提案としては上がっていたと思いますが、検討の段階でなくなったのでしょうか。

事務局：創生本部でも検討しましたが、現実的に難しいところがあります。1時間以内で行ける場所が多くはありますので、そこをPRしていきたいと思っています。

委員：今の話について、お客さんが来やすいようにならないでしょうか。高速道路から直接有料道路を引っ張ることができれば、もっと人が来るのではないのでしょうか。

事務局：推定でしかありませんが、国土交通省の管轄の中で道路を作っていくには現実的ではないと思います。今の町で何ができるかを考えていただければと思います。

会長：今後国でそういった動きがあれば、積極的に誘致していただければと思います。

委員：提案一覧に日本版CCRCが載っていますが、長瀨町にはそぐわないので削除していただきたいと思っています。

事務局：こちらの意見については、提案として上がってきたので削除はしませんが、事務局としても長瀨町でCCRCを実施していくには規模が大きすぎて、現実的に難しいところがあると考えています。戦略に入れることは考えていません。

会長：続いて基本方針3について、ご意見ありますでしょうか。

委員：17ページの複合的子育て支援拠点施設について、道路沿いの幼稚園など今長瀨町にあって有効利用されていない施設を洗い出したうえで、それらの活用を考えていった方がいいと思います。

事務局：先ほどありました道路沿いの幼稚園ですが、個人の所有になりますので、今後当事者と調整がつけば、進めていきたいと思っています。また、公共施設全体の見直しを行いながら、適切な運営を図っていききたいと思っています。

委員：婚活イベントですが、予算的にはどれぐらいですか。

事務局：現在社会福祉協議会が実施していますが、基本的に会費は参加者からいただいているので、大きな額ではないと思います。

会長：続きまして、基本方針4についてご意見ありますでしょうか。

委員：資金がかかることはおっしゃっていますが、道路整備について、私は傾斜のひどく、緊急車両が入れないところに住んでいます。去年危険個所のチェックをしたということですが、実際どこを危険個所としているかは知らされていません。私たちがどれだけ要望を出しても、進んでいないように感じます。危険な箇所がどれぐらいあるのかききたいです。

会長：内容的には、危険箇所、老朽箇所についてのチェックということでしたが、いかがでしょうか。

事務局：道路の危険個所の把握で、個別の箇所についてはこの場で答えかねます。この場ですぐにお答えできないところもありますので、担当課に直接問い合わせていただければと思います。

委員：ふるさと納税について、他自治体で高額納税へのメリットを大きくしたら、納税が増えたという結果がでました。一つの自治体だけでなく、近隣の特産品を使っていたりもするので、長瀨町でも検討していただければと思います。

事務局：ふるさと納税につきましては、これを使ってほしいという提案があると町としても嬉しいです。観光協会や企業と連携しながら、件数が100件超えるようにしていきたい思います。

委員：災害に強いまちづくりについて、来訪者の安全はどうしていくと考えていますか。

事務局：長瀨町地域防災計画に載ってくるものだと思いますし、来訪者も避難できる仕組みをつつていききたいと思っています。

- 委員：家に帰れないことも想定されるので、そこも考えていただきたいと思います。
- 事務局：今の話はこちらの会議よりも、地域防災を考えていくうえで重要ですので、そちらで考えていきたいと思います。
- 委員：秩父鉄道さんにもお聞きしたいのですが、鉄道が止まってしまった場合の対応は、どうなるのでしょうか。
- 委員：防災委員会の委員に関係者が入っていますので、その中でできることを考えていきたいと思います。
- 委員：アンケートの自由回答にスクールバスを要望する意見がありました。安心安全に暮らしていくには重要なことなので、スクールバスをどうしていくかをお聞きしたいです。
- 事務局：予算が確定していないので、はっきりとは申し上げられませんが、矢那瀬地区では帰りだけでなく、行きも実施することで検討しています。
- 委員：今の話は矢那瀬地区だけの話ではなく、町全体の話で、バスを検討していただきたいと思います。
- 事務局：巡回バスの関係は総合戦略で検討していかない予定です。他の町村を見ますと、実際に利用が少なかったり、採算が合わないところが見られています。
- 委員：スクールバスの関係で、小学校の親の送り迎えが必要かアンケートをとりましたが、矢那瀬地区以外要望は挙げられませんでした。バスが通ると第二小学校の必要性がなくなってしまう可能性があります。小学校の運営は採算性が合わないからやらないのではなく、第二小学校を存続させていきたいという意見が当時は出ていました。
- 委員：今のお話で、人を呼ぶために整備するか、人が増えたら整備するのか、どちらが先になるかという問題になると思います。
- 事務局：まだそこを判断できる状況ではないと考えています。調査して初めてわかるものだと思います。推進本部では採用しない方向性で考えています。
- 会長：意見として受け入れ、推進本部で今後検討していただきたいと思います。
- 委員：事業全般について、今ある既存のものを調べ上げて、安く済む方法を考えていただきたいと思います。

2) その他

- 事務局：このあとパブリックコメントを30日実施し、住民の意見を聞いていきます。反映できるか検討して、対応していきたいと思います。次回の推進会議は2月末から3月上旬を予定しています。
- 会長：皆さまのご協力で終わることができました。ありがとうございました。

4 閉会

(終了)